

shibusawa hat

2023年春、地域の社交場として 飛鳥山公園が 生まれ変わります。

about “shibusawa hat”

飛鳥山公園の魅力向上事業「shibusawa hat」では飛鳥山公園のポテンシャルを最大限に活用し、地域住民や来園者のための地域の社交場となる場所を育てることで、王子エリアの更に発展させる目的で行っています。

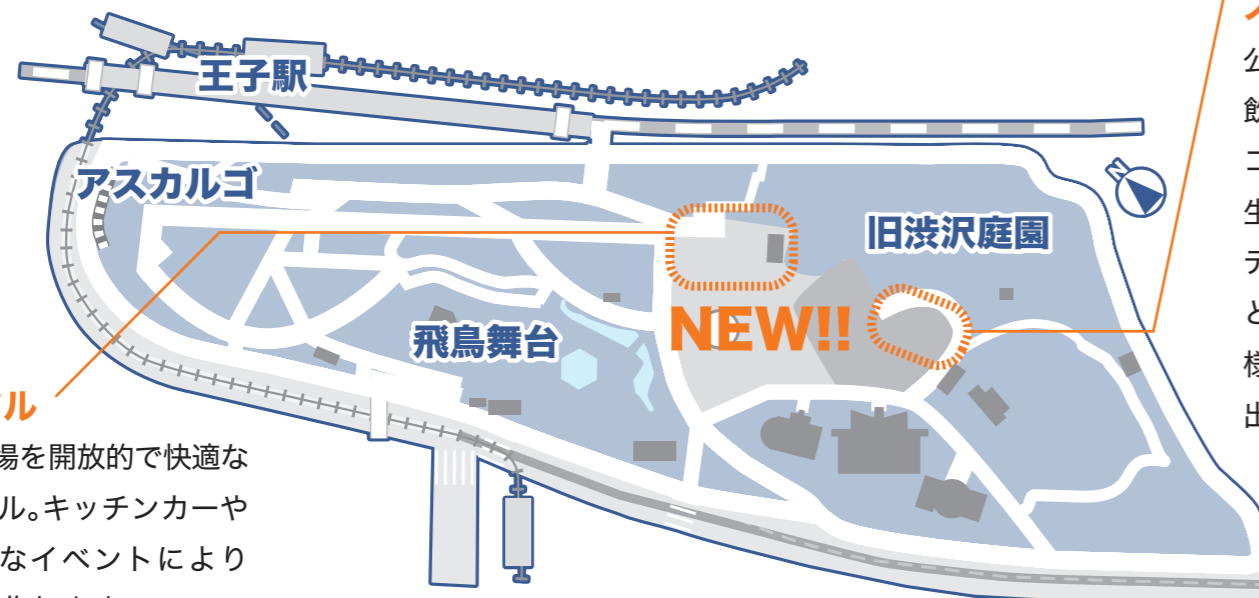
地域の社交場として、2023年春より、交流の核となる飲食施設・コミュニティスペースがオープンするとともに旧さくら亭周辺の広場やトイレもリニューアルします。

東京都北区初のPark-PFI制度の活用として、施設整備・運営は大日本C・アメニス・内藤H・東京北区観光協会グループ(代表企業:大日本コンサルタント株式会社)が実施し、飲食施設やイベント等による収益の一部を公園内の施設の維持管理に重点するとともに、さらなる魅力向上を図っていきます。

公園で遊び・交流を楽しむことで、**もっともっと楽しい社交場に！**

2023年春を楽しみにお待ちください。

新たに生まれ変わるエリア



広場リニューアル

旧さくら亭周辺広場を開放的で快適な広場へリニューアル。キッチンカーやマルシェ等、多彩なイベントにより様々な公園の顔を作ります。

Park-PFI のしくみ



公園がもっと魅力的に！

飲食施設・コミュニティスペースが誕生！

公園内の滞在を楽しくする飲食施設、交流の核となるコミュニティスペースが誕生。イートインだけでなくテイクアウトも充実するとともにイベント等により多様な公園の楽しみ方を体験出来るようになります。

concept

地域の社交場としての飛鳥山公園へ

江戸は八代徳川吉宗の時から多くの人が集い・親しまれてきた飛鳥山公園。日本を代表するサクラの名所や、線路沿いに潤いを加えるアジサイ、のびのびとしたケヤキやイチョウで四季が彩られ、飛鳥山公園には深い魅力がたくさんあります。そんなたくさんの魅力を最大限に伸ばし、人々が集い・交わる「地域の社交場」として飛鳥山公園をリニューアルします。

テーマは shibusawa hat

かつて渋沢栄一が居を構えた飛鳥山は国内外から著名人が集まる社交場でした。渋沢栄一は社交場に立つ際、人々に敬意を表してシルクハットをかぶっていたと言い伝えがあります。生まれ変わる飛鳥山公園が地域の社交場として多くの方が集う場となるよう願いを込め、渋沢栄一が愛用したシルクハットにちなんで「shibusawa hat」と名付けました。



このロゴマークは渋沢栄一が被っていたシルクハットをメインモチーフにしており、周囲の点は「shibusawa hat」に集まっている人々を表現しています。

info



「shibusawa hat」公式HP



発行元 大日本C・アメニス
内藤H・東京北区観光協会グループ